

第2回松本市公民館運営審議会

<会議次第>

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議 事
(1) 令和5年度 生涯学習課・中央公民館事務事業報告
- 4 閉会

松本市公民館運営審議会委員・Mウイング文化センター運営委員名簿

根拠法令等 松本市公民館条例、松本市公民館運営審議会規則、松本市Mウイング文化センター運営委員会設置要綱

活動内容 館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するとともに、Mウイング文化センターの運営について協議する。

◎委員長 ○副委員長

| 区分 | 氏名 | 所属団体等 |
|-------|----------------------|---------------------------------------|
| 学校教育 | 五明 佳代 | 松本市立筑摩小学校 校長 |
| | 阪口 和彦 | 松本市立松島中学校 校長 |
| 社会教育 | ○立石 恵子 | フリマネット信州 代表 |
| | 降旗 都子 | 松本市地域づくり市民委員会 委員長 第三地区まちづくり協議会 副会長 |
| | 染井 伴子 | 松本市女性団体連絡協議会 |
| | 中田 安子 | 元 第三地区公民館 館長 |
| | 百瀬 壽 | 松本市町内公民館長会 会長 |
| | 中島 麻衣 | 地域づくり考房「ゆめ」 |
| | 山口 茂 | 松本市公民館報全市版編集委員会 委員長 |
| 小穴 一郎 | NPO法人信州ソフトウェア協会 代表理事 | |
| 家庭教育 | 熊谷 留理子 | 松本市PTA連合会 参与 |
| | 久保田 由美 | 松本みんなのほご教室 |
| 有識者 | ◎向井 健 | 松本大学 総合経営学部 准教授 |
| | 前田 豊 | 信州大学 人文学部 准教授 |
| 公募者 | 小峰 悦雄 | 公募 |

(任期2年:令和5年8月1日から令和7年7月31日まで)

| | | |
|-----|-------|---------------------------------|
| 事務局 | 石川 善啓 | 松本市生涯学習課・中央公民館 課長(館長) |
| | 中村 安広 | 松本市生涯学習課・中央公民館 社会教育推進担当 課長補佐 |

令和5年度事務事業報告

課名： 生涯学習課・中央公民館

1 事務事業の概要

生涯学習の施設整備や地域住民の主体的な学習活動の支援を行い、自治能力を高める学習活動の推進及び生涯学習による地域づくりを目指します。地区公民館を総合的な地域づくりの拠点と位置づけ、地域課題と向き合い、地域住民が主体的に解決するための学習・実践を充実させ、松本らしい公民館活動を展開します。

2 生涯学習課・中央公民館の総合評価

| | 自己評価 | 評価の理由 |
|--------------|------|--|
| 重点目標の達成度 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクール事業の国型モデル校では、学校運営協議会の設置及び地域学校協働活動推進員の配置により、学校の負担軽減や学校・地域の連携強化を図りました。 ・魅力ある若者の居場所づくりとして、中央公民館2階フリースペースの拡充、長期休業に合わせた地区公民館を開放しました。中央公民館フリースペースの利用者が従前の4倍となるなど周知が進みました。 ・松本市公民館チャンネル(YouTube)へ各公民館の講座を投稿し、映像コンテンツの充実を図りました。 ・公民館等長寿命化事業として、Mウイング第2期工事(トイレの洋式化、照明のLED化)のほか、松南地区公民館(南部図書館を含む。)の中間改修工事を実施し、施設の利便性向上を図りました。 |
| 社会情勢への対応(任意) | | 中央公民館2階フリースペース拡充後、利用者へのアンケートなどを通して、利用時間の延長やスペース内での飲食可など、多様なニーズへの対応をしました。 |
| 事務事業の効率化(任意) | | まちづくりの集いは、実行委員会を书面開催とすることで負担を軽減し、分科会企画の充実を図りました。 減免団体以外の公民館利用受付にオンラインでの決済を追加し、利用者の利便性向上を図りました。 |

3 令和5年度における重点目標の成果と課題

【第3次計画で主に関連する分野・方針】

(1) コミュニティスクール事業(継続)

国制度をモデル導入、効果検証のうえ、今後の展開について検討。コミュニティスクール事業を通じ、「地域とともにある学校づくり」を推進

<具体的な進め方等>

- ・大野川小中学校をモデル校として、学校運営協議会の設置及び地域学校協働活動推進員の配置を通して、学校の負担軽減を図るとともに事業を推進。コミュニティスクールのあり方検討会などで、モデル校の効果検証を踏まえ、他地区への展開を検討
- ・松本版コミュニティスクール事業は、引き続きコミュニティスクール運営委員会での話し合いを通して、地域の特性を生かした事業を展開

【第3次計画で主に関連する分野・方針】

- 2-1 学童期の遊びと学びの充実
- 2-3 教職員研修の充実と働き方改革の推進
- 8-2 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

ア 事業成果

(7) 事業の達成状況

国型モデル校では、学校運営協議会を年3回開催し、地域及び学校の課題共有や移住者受入れの協議などを行いました。また、地域学校協働活動推進員を配置し、地域講師との連絡・調整、移住者の受入支援、人材バンクの作成などを行い、学校と地域の連携

| | |
|---|--|
| <p>強化、学校の負担軽減などにつなげました。</p> <p>コミュニティスクールのあり方検討会では、モデル校の効果を検証し、今後の展開について検討しました。</p> <p>(1) 第3次計画において位置づけた「関連する分野・方針」との連携についての達成状況 国型モデル校には、コミュニティスクール事業費とトライやるエコスクール事業費を統合のうえ、委託料として一括配当することで、地域連携予算をより柔軟に執行、多彩な事業を展開することができました。(2-3、8-2)</p> | <p>イ 課題と方向性</p> <p>今後、国型を展開するうえで、地域学校協働活動推進員の配置等に係る学校・地域の要望や費用対効果等を鑑みながら、導入候補校の選定に向けた具体的な調整をします。</p> |
| <p>(2) 子ども・若者の居場所づくりと社会参画事業(継続)</p> <p>若者の多様なニーズに対応できる魅力ある居場所・環境づくりの構築、ひきこもりの若者支援の取組み、若者の多様な社会参画の推進 〈具体的な進め方等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館(Mウイング)2階のフリースペースの拡充及び小中学校の長期休業に合わせた地区公民館の開放 | <p>【第3次計画で主に関連する分野・方針】</p> <p>2-2 青年期の遊びと学びの充実 2-4 多様な遊びと学びの機会の保障 3-1 子どもの権利保障と環境づくりの推進 4-2 リカレント教育の充実 8-1 放課後の子どもの居場所づくりの推進 8-3 地域づくりの推進</p> |
| <p>ア 事業成果</p> <p>(7) 事業の達成状況</p> <p>a 中央公民館(Mウイング)2階に設置したフリースペースの座席の増設や、図書室のレイアウトの変更など、利用しやすい環境を整え、利用者が前年度比約4倍となりました。また、中心市街地の写真展、松本県ヶ丘高校の生徒と連携した勉強会のイベントを計画するなど、魅力のある若者の居場所づくりを進めました。</p> <p>b 学校の長期休業に合わせ、中央・地区公民館28館を若者に向けて開放しました。また、公民館主事研修会で、松原地区公民館や笹賀公民館で実施している「居場所支援ほっとスペース」の取組みを紹介し、各館での実施に向けた周知を行いました。</p> | <p>イ 課題と方向性</p> <p>(7) 中央公民館2階フリースペース利用者へのアンケートを随時実施し、利用者のニーズに柔軟に対応します。また、アンケート等により利用しやすい環境を整えるとともに、地区公民館へもフリースペースを設置します。</p> |
| <p>(3) ICTを活用した多様な学びとコミュニティ創出事業(継続)</p> <p>いつでも誰でも学ぶことができる学習機会の充実、多世代かつ多様な住民が主体的に学び、つながりや住民自治を育むためのコミュニティづくりの推進 〈具体的な進め方等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した動画配信等による学びの場の提供と情報発信の方策を研究 ・オンライン公民館の研究 ・デジタルディバイド解消のため学習講座の開催及び人材の発掘・育成 ・まるごと学都構想の実現に向けた図書館・博物館との連携事業の実施、ICTを活用した連携事業の検討 | <p>【第3次計画で主に関連する分野・方針】</p> <p>2-4 多様な遊びと学びの機会の保障 3-2 互いを認め合い学び合う教育の推進 4-1 社会教育活動の充実 8-1 放課後の子どもの居場所づくりの推進 8-3 地域づくりの推進</p> |

| | |
|--|---|
| <p>ア 事業成果</p> <p>(ア) 事業の達成状況</p> <p>a 公民館主事による動画編集チームを編成して、各公民館の講座を「松本市公民館チャンネル(YouTube)」へ投稿し、映像コンテンツの充実を図りました。また、コロナ禍ではオンラインを用いた集会等を実施してきましたが、本年度は対面による講座を主軸とするため、来館していただけるような映像コンテンツによる情報発信を行いました。</p> <p>b デジタルディバイド解消のための取組みとして、DX推進本部と連携し、地区公民館で初心者対象のスマートフォン講座、相談会を実施しました。また、デジタル弱者を持続的に支える環境づくりを目的とした、デジタル人材育成研修を実施しました。</p> <p>c まるごと学都構想の実現に向けた図書館・博物館との連携事業として「勾玉と本でキミも縄文人!？」(参加者54名)を開催し、公民館事業に参加をしたことのない方が足を運んでいただける機会とするとともに、地域の歴史について改めて学ぶ機会となりました。</p> <p>(イ) 第3次計画において位置づけた「関連する分野・方針」との連携についての達成状況 図書館・博物館との連携事業の一環として、個々の興味をさらに発展できるよう図書資料や検索方法について紹介しました(2-4)。また、聴覚障がい者と学ぶ成人学校では、新博物館開館に合わせ、新博物館ツアーや市内の博物館分館の見学会を実施し、学びの多様な機会提供の促進につなげました(3-2)。</p> | |
| <p>イ 課題と方向性</p> <p>(ア) デジタルディバイド解消のための人材育成は、公民館職員が主となっているため、地域による人材育成に向けて事業を展開します。</p> <p>(イ) まるごと学都構想の実現に向けた図書館・博物館との連携事業を検討します。</p> | |
| <p>(4) 公民館等長寿命化事業(継続)</p> <p>設備機器(照明・トイレ)の中間改修を実施し、公民館等の長寿命化に向けて施設の機能を維持・回復 ＜具体的な進め方等＞</p> <p>・令和5年度は松南地区公民館、Mウイングの中間補修工事を実施。特にMウイングは権利者の合意を得ながら4ヵ年の工事を計画的に実施</p> | <p>【第3次計画で主に関連する分野・方針】 4-5 社会教育関係施設の整備・充実</p> |
| <p>ア 事業の成果</p> <p>(ア) 事業の達成状況</p> <p>松南地区公民館は、屋根・外壁補修の他、照明LED化、トイレ洋式化及び空調改修等を行い、建設から34年経過し、老朽化した施設・設備の環境整備を完了しました。</p> <p>Mウイング(中央公民館)は建設から24年が経過し、大規模施設のため4ヵ年計画で利用者に配慮して工事を実施します。2年目となる本年度は、南棟廊下、階段等の照明のLED化、トイレの洋式化と床、天井の補修をしました。あわせて次年度の工事である第3期中間改修工事の実施設計を行いました。</p> <p>(イ) 第3次計画において位置づけた「関連する分野・方針」との連携についての達成状況 松南地区公民館の中間改修工事とともに、南部図書館、松南地区地域づくりセンターの設備改修を行い、地区住民への利便性向上を図りました。(4-5)</p> | |
| <p>イ 課題と方向性</p> <p>個別施設計画に基づき、当面は中間改修工事により、老朽化した施設・設備を更新していきます。</p> | |